

# R5 年度自己評価結果公表シート

認定こども園 新光明池幼稚園

## 1. 本園の教育目標

幼児の発達や学びの連続性を踏まえ、幼児が多様な経験を一つ一つ重ねていくこと、又、五感を通して「自分で体験し感じる」教育を重視している。園生活の中で教員との信頼関係を育て外へのかかわりを広げ、遊びを通して集中力、持続力、忍耐力や豊かな人間関係、知的好奇心や小学校の教科教育の土台となる学びの芽を培う。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園内の安全管理を強化する
- ・自園給食の実施と食育の推進
- ・連続した保育・教育を実現するための工夫
- ・教職員の専門性と質の向上
- ・保護者への情報発信と連携
- ・子どもの学びを促す環境の充実
- ・支援を要する子どもやご家族をサポートする体制づくり

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
園内安全管理の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・園内安全管理の担当者を配置し、安全会議を年数回実施し、園内組織図の検討を開始。</li><li>・安全管理に関する府の調査を実施。情報交換し園内安全管理について強化を行った。</li></ul>
自園給食の実施と食育の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・給食室が始まり1年が経ち調理スタッフの人間関係がとても良好の中進んでいる。少し慣れてきたこともあり、「卒園する前にバイキングをしたい」というアイデアが出る。</li><li>・園内の畑の収穫物を給食食材として使用するなど、畑との連携も進んでいる。</li></ul>
連続した保育・教育を実現するために	<ul style="list-style-type: none"><li>・学年が異なる保育者との関係性の構築<ul style="list-style-type: none"><li>→異年齢スタッフが集ってのミーティング</li><li>→行事担当を異年齢スタッフがペアとなり行う</li></ul></li><li>・学年間でそれぞれの保育を知る<ul style="list-style-type: none"><li>→異年齢クラスの保育見学・参加</li></ul></li><li>・学年同士の連携も重要課題</li></ul>
教職員の専門性と質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの保育及び教育に関わるスタッフとし</li></ul>

	<p>での意識の向上に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ一同に会する機会を持ち、園の方向性や考え方を共有する時間を確保する</li> <li>・各自の保育経験や、任務に合った研修を受講</li> <li>・研修受講の機会を促す情報提供を行う</li> <li>・学年間での園内研修を定期的に行い、保育者の保育力向上に繋げる</li> <li>・他園の公開保育や行事見学を積極的に行い、自園を振り返る良い機会とする</li> <li>・スタッフが働きやすく、やりがいがある職場づくりを目標とし努力を行っている。</li> </ul>
<p>保護者への情報発信と連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の要望には誠実に対応し、園の方針を理解して頂きながら対応する。園内で教員たちが行っている保育をどのように家庭に伝えていくか検討をすすめている。園内スペースでの掲示の工夫、わかりやすい配布物の工夫などを行う。</li> <li>・保護者が「子育てが楽しい」と思える仕組みづくり。→園庭サポーター活動開始、ポニー当番、草花アレンジメント 等</li> <li>・卒園児対象の活動プログラムを学期毎に行い、卒園後も子どもたちと園とが繋がることのできるよう進めている。</li> </ul>
<p>子どもの学びを促す環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがワクワクする園庭をと、園庭改造プロジェクト開始。(専門家及び植木屋さんと連携して)</li> <li>・1年の各学年の流れに沿うコーナー遊びの検討を進める</li> <li>・各クラスに環境充実費を支給し、厳選した教材、玩具や遊具を揃え、環境を整える。</li> <li>・壁面等の見直しを行う(子どもにとってどうなのかの視点)</li> <li>・行事の見直し(それぞれのねらいを再度確認する)</li> </ul>
<p>支援を要する子どもやご家族をサポートする体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当園臨床心理士を中心に、和泉市保健センター、堺市保健センターと連携を取り、支援の必要な子ども達に対して定期的に話し合いを持つ</li> </ul>

	<p>ている。</p> <p>また、要保護児童、要支援児童について市と連携を取り育ちを見守っていく。家庭支援を要するご家族へ適切なサポートができるよう保育者の意識改革を行っている。</p>
--	--

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
概ね達成できた	<p>R5年度は新型コロナウイルスへの制限が解かれ、徐々に通常の生活に戻りつつあった1年であった。まだ保育面ではコロナ禍以前のような状況ではないが、保育者でこの数年の経験不足を補うために、様々なチャレンジを意識的に行った。</p> <p>園スタッフは子どもたちの育ちを願い、一致団結して保育及び教育に当たっている現状にある。</p> <p>園の運営及び保育目標を的確に設定し、実行し、振り返る一連の流れがスムーズにいくよう努力していきたい。</p>

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
異年齢児保育や地域活動の再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が終わり徐々に、以前の「人との繋がり」の活動を再開しているが、まだ連携が進まない状況である。次年度は更に進めていきたい。</li> </ul>
教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフより、他園の保育をもっと見たいと意見が出ており創立記念日等を利用し他園訪問を行い学びたい。</li> <li>・支援児が増加傾向にあるため、サポートシステムの検討が必要である。</li> <li>・幼小接続、小学校との連携を進めていきたい。</li> </ul>
安全管理組織の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルが実践に繋がるものとなっているかの再点検を実施する。様々な安全管理を網羅できるように努力したい。</li> </ul>

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。